

和地ひとみレポート No.405

8月25日から市内小・中学校の2学期がスタート 新型コロナ感染症対策を徹底するも 市内初の新型コロナによる学級閉鎖



■東大和市は予定通り2学期をスタート

…8月中旬の新型コロナウイルス感染者の9割以上がデルタ株に置き換わったという報道と時期を同じくして、子どもへの感染が増加しているということも大きく報道で取り上げられるようになりました。

…デルタ株拡大以前は、子どもと同居する大人の家族から、子どもに感染するという家庭内感染が発生する“場合”があることが報道されていましたが、感染力の高いデルタ株、そして感染しても無症状のことも多い子どもが感染して、子どもから同居する大人の家族に感染するという逆方向の家庭内感染が多く発生するようになり、このパターンの家庭内感染は“そのような場合がある”というような、低い確率ではなさそうです。

…このような状況のなか、全国的に見ると、8月下旬から2学期がスタート地域も。しかし、国は、それぞれの地域の感染状況を鑑みて、夏休みの延長＝2学期のスタート時期を臨時休業することとし、国の号令の下での全国的な学校休業とはしませんでした。

…東京都内でも調布市、多摩市、日野市などが夏休みを延長。また、夏休みを延長しないまでも、学校に来る児童・生徒の数を少なくする『分散登校』という方法を取る学校も首都圏にはあります。

…東大和市においては、8月に入り、新規感染者数はほぼ毎日2桁を記録。8月の新規感染者数は27日現在397人。コロナ禍になってからの東大和市の累計は977人なので、実にその40%が8月に感染したことに。さらに、8月の新規感染者の約20%が10代以下という状況ですが、様々検討した結果、東大和市としては以下の考えのもと、新型コロナウイルス感染症対策をさらに徹底することで、2学期のスタート日を変更せず当初通りとしました。

【小・中学校の2学期開始に対する市の考え方】

市内小・中学校においては、8月25日より2学期を開始する。

新型コロナウイルス感染症については、デルタ株への置き換わりが進む中で、新規感染者数が急速に増加しており、新型インフルエンザ等対策措置法第32条に基づく緊急事態宣言は、9月12日まで延長されている。

このような状況の中で、学校や家庭において感染拡大の危機感を共有し、感染症対策の徹底を図ることが重要であると考えている。

市においては、「東大和市立小・中学校版感染症予防ガイドライン(新型コロナウイルス感染症)」を作成し、これまでも、各小・中学校において感染症対策に取り組んできたところだが、新学期を迎えるにあたり、これまで以上の感染対策を

講じる中で、児童・生徒の学びを保証していくことが、極めて重要であると考えている。

については、学校における感染症対策の更なる徹底・強化に努め、学校での取組を保護者へ十分に周知を行ったうえで、学校の教育活動を進めていく。

なお、今後、新型コロナウイルス感染拡大などの状況の変化に伴い、対応を変更する場合もある。

■感染不安や感染予防により

登校できない場合は欠席扱いとはしない

…上記の考え方のもと、東大和市では“児童・生徒の学びを保証していくこと”を重要として2学期を通常通りスタートしましたが、学校における感染症対策については、更に徹底、強化する大きな方向性を以下の通り示しました。

- ①市としての感染症に関する方策に基づき、各学校において感染症拡大防止対策を徹底したうえで、教育活動を実施する。
- ②児童・生徒の健康観察を実施するとともに、児童・生徒に咳、発熱、息苦しさなどの体調不良の症状が見られる場合は、登校を控えさせ、受診するように促す。
なお、家庭内感染が多くなっていることから、同居の家族に同様の症状が見られる場合も、登校を控えるよう促す。
- ③各学校において、3密の回避や換気の徹底など、校内の感染症対策を再確認する。
- ④緊急事態宣言解除まで当面の間、保護者の方や市民の皆様を対象とする教育活動等への参観は控えさせていただきます。
- ⑤児童・生徒の1人1台タブレット端末を活用した教育活動の推進を図る。
- ⑥感染不安や感染予防により登校できない児童・生徒に対しては、欠席扱いとはしない。児童・生徒の実態に応じて、オンラインを活用した学習支援や相談支援を行っていく。

…市が“児童・生徒の学びを保証していくこと”を重要視したことや、上記のようなポイントを再度徹底することについては、異論はなく賛同するところですが、②の“同居の家族に同様の症状が見られる場合も、登校を控えるよう促がす”や“感染不安や感染予防により登校できない児童・生徒に対しては、欠席扱いとはしない”については、実際、どのようにオペレーションするのか。現場の先生たちがこれらに対応するのは、本当に大変だろうなと感じました。(裏面に続く)

■学校での具体的な対応は

…また、2学期は行事の多い学期。修学旅行だけでなく、運動会など、秋に実施する学校も多いですが、今年は、通常の年は春にこれらの行事を実施する学校も、コロナの影響で秋に延期しているところもあります。
…授業や学校行事などについて、学校では具体的にどのように感染拡大防止対策を徹底していくのか。その内容については、以下のとおりとなっています。

【学校における感染予防策について】

- ◆登校時においては、健康観察票の提出等により、児童・生徒の健康状態を把握する。健康観察票による確認が出来なかった場合は、直ちに別室にて検温を行うとともに、風邪の症状などを確認する。
- ◆時間差をつけて校舎内に入室するなど、各学校において、登校時の混雑を避けるための工夫を行う。
- ◆児童・生徒間のスペースを学級内で最大限確保する。
- ◆登校時には手指消毒を行わせるとともに、多くの児童・生徒等が手を触れる箇所(ドアノブ、手すり、スイッチなど)について、1日1回以上消毒を行う。
- ◆授業終了後、児童・生徒の速やかな下校を行う。

【学習活動について】

- ◆各教科等の指導に当たっては、教職員、児童・生徒は、マスクの着用を基本とし、飛沫感染防止を図る。なお、感染症対策を講じてもおお飛沫感染の可能性が高い学習活動は行わない。

【学校行事について】

- ◆児童・生徒が学年を超えて一同に集まって行う行事や、不特定多数の人が集まる市内外の場所へ出かける校外学習は中止とする。
- ◆移動教室、修学旅行等の宿泊を伴う行事については、集団で旅行することに伴う感染リスク等を踏まえ、緊急事態宣言中の実施については、中止または延期とする。

【給食について】

- ◆児童・生徒が対面して食事をする形態を避け、会話を控えるよう指導する。

【部活動について】

- ◆緊急事態宣言解除まで当面の間、中学校における部活動は、原則として行わない。ただし、各学校長の責任の下、大会等への出場は可能とし、大会等参加に伴う練習等も認める。なお、活動に当たっては、必要最低限の活動日数・時間および参加人数にする等の感染症対策を徹底する。
- ◆大会等に参加する場合は、各学校において保護者の方に対し、大会等への出場に関する文書を出したうえで、出場についての同意書をご提出いただくとともに、各学校において、毎日、生徒の健康観察を行う。

【その他】

- ◆家庭における感染症対策として、日中や休日も含めた不要不急の外出や移動をご遠慮いただくこと、学習塾等の習い事についても、感染症対策にご留意いただくことを、各家庭にお願いする。

…多忙を極めている学校現場に、コロナ対策の消毒や健康観察などが加わり、学校現場は大変な状況だと思えます。また、部活動の実施や大会への参加等は「校長の責任のもと…」となっています。

…また、参加となった場合は保護者の同意書を提出してもらっていますが、保護者は様々な意見を持っているため、それをまとめるのも大変だと思えます。参加しても何も問題なく終われば、参加しなかった子どもの心には大きな落胆が残ると思えますし、もしその反対に、感染拡大などの問題が発生すれば、参加させた保護者や参加を許可した校長の心に傷が残るよう感じます。

…国は、全国の幼稚園と小中学校に新型コロナウイルスへの感染を調べる『抗原検査の簡易キット』を配布する方針を示しており、現在、必要数について調査をしているようです。この『抗原検査の簡易キット』を使用すれば、部活動などの特別活動の実施の有無の判断に役立ちそうですが、学校内で教員が簡易キットでの検査に携わることは、小児科医などから異論も出ているため、実現するのか不明な状況です。

…一方で、命の大切さは最重要項目ですが、子ども時代の貴重な1年、1年の経験を少しでも実現してあげたいという思いも。人間の脳は「出来ない」と思うと働かなくなるとのこと。まだ完全な終わりが見えないコロナ禍ですので、感染予防に努めながらも「出来る方法はないか」と模索する必要思考回路も維持すべきではと感じています。そのうえで、十分配慮してチャレンジした結果のアクシデントに関しても、一定の寛容さも持ち合わせていたいとも思います。

■残念ながら初の学級閉鎖を決定

…このように様々な対応をしてスタートした東大和市の2学期ですが、8月28日(土)、市立小学校で、初めて学級閉鎖を実施することに。児童1名が8月27日にコロナに感染していたことを確認。登校していた中、濃厚接触者は確認されていないとのことですが、8月30日～9月3日まで、当該学級のみを閉鎖することになりました。そして、学級閉鎖期間はタブレット端末によるオンライン授業を実施するとのこと。

…市はこのことを市のHPに掲載、報道機関にも情報提供していますが、関係者の人権尊重と個人情報保護のために学校名等は非公開としています。しかし、学級閉鎖となれば、自然とそれらの情報も漏れ聞こえることになりうるかもしれません。東大和市においては、コロナに関係する差別やいじめ等が絶対にならないように、学校での指導、ならびに市民への呼びかけ等をお願いしたいと思います。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。コロナ禍において、駅頭での配布は一時、控えております。

【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。『学校』の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在3期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP: <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102